

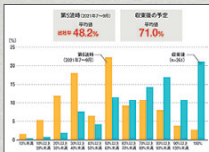
Special Feature

コロナ禍2年、 ニューノーマルの5大トレンド



検証 オフィス戦略

コロナ直後の決断、
その後……………P.26



傾向

データで見る
コロナ後のオフィス……………P.30

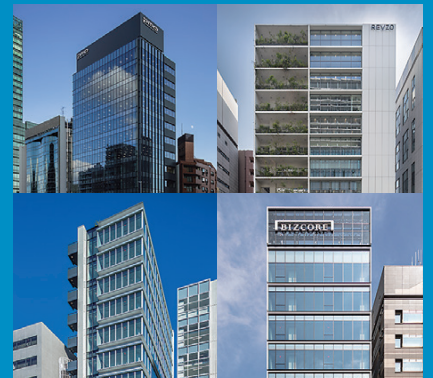
開1
TREND 1

大規模オフィスは
付加価値競争……………P.34



開2
TREND 2

中規模オフィス
戦国時代……………P.38



オフィス激変

コロナ禍で2年が経過し、働き方とオフィスの形は激変した。テレワークと出社を組み合わせる「ハイブリッドワーク」が定着。フリーアドレスやABW（アクティビティ・ベースド・ワーキング）の採用が増える一方で、オフィスには「出社する価値」が求められるようになった。オフィス・ニューノーマルの具体的な形とは。5つのトレンドが見えてきた。（星野拓美=本誌、島津翔=日経クロステック）

富士通が「オフィス面積半減」の方針を発表してから2年弱。首都圏の複数のビルを解約し、JR川崎駅直結のオフィスビルに新拠点を構えた（写真：富士通）

TREND 3

プランの「可変性」は大前提に

P.42



TREND 4

複合化するシェアオフィス

P.45



TREND 5

築古でも「グリーンビルディング」

P.48

